

看護職員の負担軽減及び処遇改善の取り組み

① 職員の労働時間管理

- ・勤務時間：40時間以内/週
- ・勤務状況の把握：有給取得率、時間外労働の把握
- ・多様な勤務形態の導入（早番、パート活用）で繁忙時間帯の業務分担配慮

② 多職種からなる役割分担推進のための委員会

1回/1か月 開催

③ 職員負担軽減及び処遇改善に関する取り組みの公開

院内掲示 ホームページ上公開

④ 勤務環境・処遇改善

項目	取り組み
妊娠・子育て中の職員への配慮	・妊娠中は夜勤の減免や作業軽減の配慮 ・産休、育休の充実
	・男性の育児休暇取得 ・子育て中は夜勤の配慮や休みの要望に配慮
メンタルサポート	・1回/年 ストレスチェック ・職員の相談窓口実施
看護補助者活用推進への取り組み	・看護師長は「看護補助者活用の更なる活用のための看護管理者研修」受講完了 ・看護補助者の夜勤配置

⑤ 看護師と多職種との役割分担

リハビリ	・患者のADL動作、適正なポジショニングの指導
	・リハビリ訓練時の患者の送迎
検査技師	・入院患者のベッドサイドでの心電図検査、エコー検査実施
事務員	・ワクチンの予約業務
相談員	・入退院、転院の調整
薬剤師	・薬品の鑑別（・外来・入院判定前・入院時持参・他科受診後）
管理栄養士	・食形態、付加食相談

⑥ 病院情報の電子化

- ・オーダリングシステムの活用